

令和6年度実施 数理・データサイエンス・AI教育プログラム自己点検・評価報告

数理・データサイエンス教育センター（以下、センター）において「数理・データサイエンスリテラシープログラム」「数理・データサイエンス応用基礎プログラム」の自己点検・評価の作業を行ったので報告する。

【評価点検のための確認事項】

1. 自己点検実施日時・報告者名

本学のデータサイエンスプログラムの科目と自己点検報告者・センター会議での報告日時は以下の通りである。

科目名	自己点検者	点検日時（センター会議の年度・回）
データサイエンス基礎	徐 貺哲	令和7年5月27日（令和7年度第1回センター会議）
地域学ゼミナール	清水 稔	令和7年5月27日（令和7年度第1回センター会議）
データサイエンス数学	徐 貺哲	令和7年5月27日（令和7年度第1回センター会議）
データサイエンス発展Ⅰ	徐 貺哲	令和7年5月27日（令和7年度第1回センター会議）
データサイエンス発展Ⅱ	徐 貺哲	令和7年5月27日（令和7年度第1回センター会議）

データサイエンスプログラムでは、「データサイエンス数学」については、教育学部の「数学基礎 A」・「数学基礎 B」、理工学部「理工系の数学 A」・「理工系の数学 B」・「微分積分学」による代替も可能としている。教育学部においては自己評価委員会、理工学部においては点検評価委員会において自己点検がなされているため、センターでは履修状況のみ確認している。

2. 令和6年度自己点検結果について

センター会議において教養教育科目・データサイエンス科目群の「データサイエンス基礎」「データサイエンス数学」「データサイエンス発展Ⅰ」「データサイエンス発展Ⅱ」と「地域学ゼミナール」の実施状況について確認が行われ、問題がないことが確認された。

3. 令和7年度の自己点検体制について

- (1)「データサイエンス基礎」・「データサイエンス数学」・「データサイエンス発展Ⅰ・Ⅱ」
各科目の授業実施後に数理・データサイエンス教育センターで自己点検を行い、授業内容・シラバス・教材の改善案をまとめる。
- (2)「地域学ゼミナール」
教養教育開発実践センター長に自己点検報告書を依頼し、センター会議で点検する。